

第61回
そろばん優秀生徒表彰式典
 平成28年4月24日(日)
 ホテル大阪ベイタワー



No. 328

発行所
 公益 全国珠算教育連盟
 社団法人 大阪府支部
<http://www.web-g.jp/osaka88/>
 E-mail:osaka88@web-g.jp
 〒552-0001
 大阪市港区波除2-8-14
 TEL 6583-6222
 発行者 櫻井行雄
 編集者 上村 亘
 印刷 広 報 部

平成28年4月24日(日)午前10時からホテルベイタワーにおいて、第61回そろばん優秀生徒表彰式典が開催された。

今年9時10分過ぎから入場が始まったが会場内はあつという間に埋め尽くされ、定刻の10時前には保護者と生徒達でほぼ満席となった。

初めに会場全員で熊本の震災でのご不幸に対し黙祷を行った。櫻井支部長は挨拶の中で、見舞いの言葉を丁寧に述べた後、この素晴らしいそろばんを、次の世代にも引き継いでいきたいと抱負を述べ、保護者に感謝の言葉を伝えて挨拶を締めくくった。

斎藤厚生部長から本部表彰261名、支部表彰135名と受賞人数の発表が行われた後、珠算優秀生徒表彰に入った。壇上で名前を呼ばれた生徒は大きな声で返事をして、支部長から一人一人表彰状を

受け取っていくのだが、大きな舞台での緊張はあつても、受け取るときはその笑顔が素晴らしい、印象に残る式典である。

生徒表彰が終了すると、特別表彰に移り、生徒作品表彰での作文の部で「最優秀賞」受賞の千賀敬太君(小学校3年)が作文を披露。1200人近く入った大きな会場にあつても、物おじせず堂々と読み上げた。右手が怪我をしてソロバンをはじけないくやしきから、けがをなおした時には、自分で珠の音を出せることがすごくうれしいと、気持ちを素直に読み上げた。

11時20分に閉式が行われた後、アトラクションに入った。アトラクションでは、相愛学園の中・高等部の吹奏楽部が特別出演。どこから入ってくるのかと待ち構えていると、会場真ん中の入り口から演奏しながら一列で入場。そのまましばらく

演奏を行い、壇上にかかるという演出で、会場内を大きく盛り上げていただいた。



壇上ではその軽やかなリズムに乗って、「おどるポンポコリン」、「あさが来た」「ヤングマン」の3曲を演奏。ヤングマンでは会場にいる表彰生も音楽に合わせ、YMCAの文字を体をくねって披露！会場全体が一体となつて演奏に引き込まれていった。

最後は抽選会、ホテルの食事券やサーカス無料券を、ピエロにふんした若手支部会員が配布、最後まで盛り上がって式典は12時10分に無事終了した。

(広報部)



表彰式典終了後、午後1時過ぎからホテル大阪ベイタワーにおいて、食事が行われた。

食事会でのスナップ写真

全日本珠算選手権大会大阪府支部の選考会が4月3日(日)、支部会議室で行われた。参加者15名の中から、小学生代表に大内峻聖・中学生代表に大内悠聖・高校一般代表に一長門が選考された。8月8日開催の全日本珠算選手権での都道府県対抗では、ぜひ3人に頑張っていたいただき大阪に優勝を持ってきていただきたい。

全日本珠算選手権の選考会



支部通常総会・本部指導者講習会・会員親睦会

日程 平成28年8月21日(日)

支部通常総会 午前10時

本部指導者講習会 午後1時

講師 前田 珠樹氏(愛知県支部)

会場 ホテル大阪ベイタワー

◎詳細については、支部事務局より連絡があります

◎多数参加してください。



第62回全国珠算 研究集会開催(名古屋)



平成28年3月27日(日)愛知県産業労働センター ウィンクあいちに於いて、午前10時から全国珠算研究集会在が開催された。

最初に梶川理事長が挨拶。「第1回全日本珠算選手権が行われた愛知県は、全珠連のふるさとの地である」と話し、その伝統ある地で開催されることへの感謝を伝えた。また、研究表彰において、大阪支部では大垣憲造氏が「楽しいそろばんの歴史」で表彰を受けた。

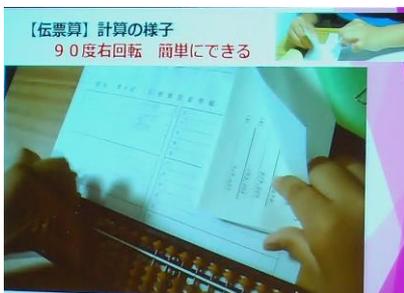
11時から、女子柔道オリンピック金メダリストの谷本歩実氏が「オリンピック金メダ



ルの計算方法」と題して講演を行った。柔道をやり続けてきた谷本氏でも、オリンピックの畳の上で上がるときは、プレッシャーで、もうドキドキが止まらないという。その時、味方につけるのが運。オリンピックの会場には常に運が流れている、その運は「明るくて前向きな人」を選ぶと話し、「私は負けていない!私は必ず勝てる!」と自らを前向きにコントロールし、勝負へのスイッチを入れるそうだ。最後に「強くなるのに近道はない!」とよく言われるが、谷本氏はあると思うとこたえ、それは「好きになることだ」と話し、好きになればどんなに苦しくても乗り越えることができる」と講演を締めくくった。

昼食をはさんで午後1時40分からは、実践発表がおこなわれ、愛知県の松本浩子氏が「利き手の違う三姉妹

の珠算指導」と題して発表を行なった。左利きの子供には、どちらの指でそろばんを弾くよう教えていますか?の問いかけから始まった。左利きであっても、そろばんは右手でおかせるというのが一般的であろう。しかし、もし子供が右手でそろばんを弾くことを拒んだ時はどうすればよいか?左利きでも皆同じではなく、個性があるのだという事を教えていただいた。そろばんを左手で操作しても10段が目指せるよう伝票のめくり方を工夫して練習している画像は驚くものであった。



ソロバンの指導では、どうしても先生の型に合わせた強制的な指導法になりがちだが、子供の個性を伸ばせるような指導とゆとりが必要ではないのかと考えさせられた。午後2時45分からは、算数チャレンジ検定のプレゼンテーションが行われ、昨年のジュニア・チャレンジクラスに続いて、高学年用のチャレンジクラスの検定が4月からスタートするということがあった。特に指導が難しいとされる「割合」や「換算」などもわかりやすく指導できるように、様々な工夫が凝らされている。4時過ぎからの閉会式では、研修学教委員長の大垣悦子氏から挨拶があり、「みんな違って、みんなの個性を伸ばす指導があつてよい」と締めくくり、研究集会是終了した。次回は、平成29年3月26日(日)に広島県で開催される。(上村)

支部そろばん研修旅行
三重県湯の山温泉・伊勢百日算



伊勢百日算共興学舎

大阪府支部会員研修旅行が、去る3月27日・28日両日にわたり実施されました。

本年は、三重県四日市市の伊勢百日算共興学舎の日野珠算学校の見学と井上敏博学校長の歴史と伝統のお話をお聞きしました。続いて伊勢百日算共興学舎の研究で第一人者の曾我和三郎先生のご講話を受けることができました。櫻井支部長と大垣先生の質問にも詳し

くご説明いただき、大変勉強になりました。

伊勢百日算は、明治5年に珠算百日稽古塾として井上親亮師によって開設され、以来幾多の苦難をへて、明治42年には七千有余名の卒業生を輩出し、「俊才雲の如し、国家社会のため貢献せし所なり」と沿革の文献に記されてあります。先生の伊勢百日算の研究の本の中には、沿革・系譜・珠算史等詳しく書かれていました。長い歴史を得て今日の五代目井上敏博先生の日野珠算学校の繁栄があることも深く感銘いたしました。

曾我先生は、卒寿とのおめでたいこと、いっまでもお元気でありますようにお祈り申し上げます。

参加者には、全珠連全国珠算研究集会(名

古屋)に前日より参加されたメンバーも多かったです。疲れもみせず熱心に勉強しておりました。



曾我和三郎先生

我々珠算界の歴史は、先人の苦難と努力によって、今日の珠算隆盛の基礎が築かれてきました。その偉大な師の功績に敬意と尊敬を捧げますとともに、珠算界の末席に籍をおく一人としまして、今後とも、日々研鑽し、次世代につなげていかなければならないと気持ち新たにいたしました。研修会に参加し、大変勉強になりました。そして多くの先生方と交流ができ、親睦をは

かることができました。有意義な研修会有難うございました。

広報部 岡野

「支部研修旅行に参加して」

10地区 前島笑子

今回は、弁天町から出発する先生方と、名古屋で行われている研究集会に参加された先生方と、名古屋で合流し、湯の山温泉で一泊しました。

私は、弁天町から参加し信楽焼きを見学、久しぶりに大きな狸の焼き物を見ることが出来ました。ホテルでは、ゆつくりと温泉を楽しみ、夜はおしゃべりに花が咲き夜がふけました。次の朝、御在所岳へ行きました。岩肌が険しい山を、12分間乗るといふロープウェイで上がりました。少し怖さを感じながらも、素晴らしい山の景色を眺めることが出来ました。ふもととの温度差は10度あるとの事で、春でありながら冬の肌

を刺す風の痛さを感じ、さらにリフトに乗って頂上まで行きました。



御在所岳ロープウェイ

霧が濃く、はっきり眺めることが出来ないかと心配でしたが、しばらくするとスーッと霧が晴れて山の景色が見えた時、感動しました。リフトに乗っている途中で、山の中腹辺でソリスベリを楽しんでいる家族連れの子供達の声が耳に残っています。



雪で覆われたスキー場

以前、子供を連れてきた時を思い出し、今日は樹氷が見えないけれどまだまだソリスベリが出来ている様子を見ると嬉しく思いました。お昼から、伊勢百日算の日野珠算学校を見学に行きました。講師の曾我先生は、90才近いご高齢の先生でしたが、元気にびっくりしました。そのご講演を聞きながら、私は「もう70才」ではなく、「まだ70才だ！」と考えるようにしようと思いましたが、珠算の歴史の深さを知り、自分の無知に気付き、曾我先生の年齢まで勉強できるんだとその時は意欲が出た事を覚えていきます。明治5年に私学認定を受け「共興学舎」を設立、一日8時間の練習で、百日で育てる。今では考えられないお話を拝聴し、日野珠算学校を後に大阪へと向かいました。充実した研修旅行でした。



平成27年度臨時総会開催
平成28年4月17日(日)
ホテル大阪ベイタワー

平成28年4月17日 午前10時から、ホテル大阪ベイタワーにおいて、平成27年度臨時総会が開催された。開会の前に、先日の熊本地震で被害にあわれた方々に黙祷をささげた。櫻井支部長の時節の挨拶の後、顧問代表の挨拶として山口勝義氏が、「本日は平成28年度事業計画案・収支予算案の承認であるので、出席されている会員の先生方からは忌憚のない意見や要望を是非求めている」と話した。本部・支部・近畿ブロック・大阪連合・近畿連合の状況報告において、支部長が次のように語った。

○第28回そろばん訪米使節団は8月12日から8月20日迄実施。

○平成28年3月27日に愛知県において全国珠算研究集会が行なわれた。(全国より639名の先生が参加)来年度は広島県で開催。

○大阪府支部研修旅行では三重県において伊勢百日算の日野珠算学舎を見学

○本部の状況報告では今後、フラッシュ暗算を段位の検定会場にて実施する可能性を示唆する報告もあった。

○学校ボランティアでは、179校からの依頼があったものの昨年よりは減少している。

○生徒数増加への手段として、昨今スマートフォンからのホームページへのアクセスが増加傾向にあるので、これまでより対応しやすいよう工夫をしている。等の話が合った。

「総会成立宣言」では、支部会員107名中、出席者39名・委任状63名で成立宣言が行なわれ、小山千明副支部長を議長として議長団(副議長・安田イワミ氏 澤西信晴氏、書記・浦美知代氏 支部事務局、議事録署名 人・谷元明光氏 栄根浩司氏)が選出され議題審議に入った。平成28年度事業計画案・収支予算案承認の件は、拍手をもって承認された。

その後、執行部報告では、厚生部から4月24日の優秀生徒表彰式典に66教場より396名の生徒達が表彰を受けると報告があり、是非、会員の皆様の力で成功させようとの話があった。

その他の件では、地区制度の改革について質疑応答がなされたが、地区を合併することにより、地区の会員数を増加させて結束を強めることで、昨今、多くの他団体が進出している珠算業界の流れに十分な対応が出来るのではないかと櫻井支部長が話した。

6月19日(日)に女性部会が開催される事を伝え、臨時総会は11時50分に終了した。

久手堅大成

6・8月検定試験のお知らせ

(珠算4～10級・暗算1～6級)

申込み締切6月1日(水)・8月3日(水)午前10時迄
 結果報告締切6月20日(月)・8月29日(月)午前10時迄
 *期日は厳守してください *受験者増加をお願いします

会費納入のお願い

◎本部会費 32,000円
 ◎支部 前期会費 30,000円
 ◎生徒安全会 1教室 2,500円

珠算指導者
教養講座

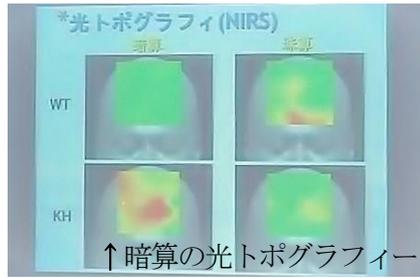
研究集会の前日、3月26日(土)に珠算指導者教養講座がウインクあいちに於いて午後2時30分から開催された。

理事長から「そろばんは頭をよくする習い事」と昔からよく言われているが、ほんとうにそうなのか?その答えに少しでも近づいていければと思います。との挨拶から始まった。

講座では、「脳のしくみと珠算、暗算」と題して、学術顧問の河野貴美子先生による講演が行われ、道具としてのそろばんが、脳にどのような変化を与えているのかを図を通してわかりやすく発表していただいた。

ソロバンで計算をしているときは、脳自身の延長としての役割を「指」が果たしているのではないかという。特に有段者が暗算をし

ているときに、脳を光トポグラフィ(近赤外光を用いて脳の血流測定)で調べると、そろばんで計算している時よりも、ずっと赤く輝き、脳が活性化していることが分かる。

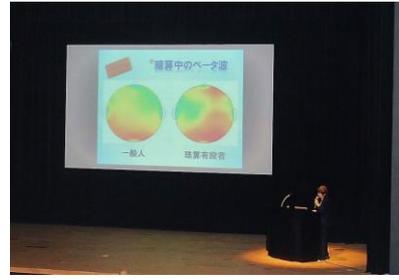


しかし、暗算によってイメージ力が強くなるが、そのイメージ力も他にも結び付けていく努力をしていかないと反対に他の部分が使われず、部分的な脳の発達に留まってしまうという事である。

(記憶力をつけるのに何が重要かという質問に、繰り返し繰り返し覚えて、常に脳を活性化させることが一番

であるという)また、一つの事に特化すると他の脳が使われず、定年後にぼけてしまうのが速くなるそうだ。老後の脳にとって大切なのは、常に新しいことに挑戦することであるという。そろばんの先生も、常に何か新しいことに挑戦をする事が必要かもしれない。

諸会議行事報告



〈支部顧問参与会議〉

- 2. 検定合格シールについて
- 日程 平成28年4月17日
- 場所 所支部会議室
- 出席者 6名
- 議題 支部地区制度について
- 6. その他

〈常任委員・地区長会〉

- 1. 議題
- 日程 平成28年5月15日
- 場所 所支部会議室
- 出席者 22名
- 8/21 通常総会
- 8/20 本部講習会・会員親睦会
- 8/28 偶数月検定近畿ブロック
- 8/9 理事会
- 8/12 訪米使節団
- 8/8 全日本珠算選手権大会

〈検定部会〉

- 1. 議題
- 日程 平成28年3月3日
- 場所 所近鉄百貨店喫茶
- 出席者 5名
- 2. 地区合併について
- 3. 生徒表彰式典の反省
- 4. 入会審議
- 5. 各執行部報告
- 9/11 近畿ブロック親睦会(大阪)
- 9/24 創立記念日
- 9/25 第375回 検定試験

行事予定

平成28年度全日本珠算選手権大会

開催日 平成28年8月8日(月)

会場 国立京都国際会館

住所 京都市左京区宝ヶ池

支部事務局の夏休み

8月9日(火)

~

15日(月)まで